



【アジア Market 概況】

本日の東京市場では、ドル円は方向感のない動きとなりました。朝方は一時 114.24 円まで値を上げる場面もみられましたが、その後は次第に上値を切り下げる展開に。日経平均が下げ幅を拡大すると昨日安値の 113.94 円を下抜けて一時 113.88 円まで値を下げました。ただ、午後に入ってから岸田内閣の経済対策の規模が一部で報じられると、株価の上昇とともに 114.27 円まで買い戻されています。また、トルコリラ円は下落。今夜にトルコ中銀の金融政策決定会合を控えて、利下げに対する思惑などから一時 10.39 円まで売り込まれています。日経平均は寄り付きから弱含みで推移。一時 290 円近い下落となりました。後場に入ってから経済対策の報道を受けてプラス圏を回復する場面もみられましたが、結局、89.67 円安で取引を終えています。

【海外 Market 見通し】

本日の海外市場では、ユーロドルは頭の重い動きとなっています。アジア時間はドル円の下落につれて昨日高値の 1.1332 ドルを上抜けて一時 1.1338 ドルまで値を上げる場面もみられましたが、その後は 1.1314 ドルまで下押ししています。市場参加者からは「昨日安値の 1.1264 ドルがサポートレベル」との声も聞かれています。ドル円は「一目均衡表転換線と基準線が位置する 113.85 円や 15 日と 12 日の安値 113.76 円が下値の目処」として意識されています。今日の経済指標では、20 時にトルコ中銀が政策金利を決定します。22 時 30 分には 9 月対カナダ証券投資、米新規失業保険申請件数、11 月米フィリー指数が発表されます。24 時には 10 月米景気先行指標総合指数が予定されています。時間は未定ながら SARB が政策金利を決定します。また、19 時にパネッタ ECB 専務理事、22 時にボスティック米アトランタ連銀総裁、23 時 30 分にウィリアムズ NY 連銀総裁、レーン ECB 専務理事、翌 4 時にエバンズ米シカゴ連銀総裁、5 時 30 分にデイリー米 SF 連銀総裁がそれぞれ講演します。

通貨ペア	高値	安値	16:00時点	通貨ペア	高値	安値	16:00時点
USDJPY	114.27	113.88	114.15	AUDJPY	83.18	82.69	83.08
EURUSD	1.1338	1.1314	1.1317	NZDJPY	80.43	79.77	80.26
EURJPY	129.36	129.08	129.19	日経平均	29715.95	29402.57	29598.66
GBPJPY	154.15	153.71	153.99	TOPIX	2044.82	2024.38	2035.52
CHFJPY	123.21	122.70	122.89	上海総合指数	3537.98	3513.11	3520.71
CADJPY	90.62	90.23	90.53	国債10年債利回り	0.0930	0.0700	0.0810

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ
 株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。情報の内容につきましては、弊社が正確性、確実性を保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、弊社は一切の責任を負いません。